

(5) 小学校との交流について

幼児が小学校入学後の生活の変化に対応し、実り多い生活や学習が展開できるようになるための方策の一つとして、地域の5歳児が小学校の行事等へ参加することなどを通して交流を図る「ワクワクひろば」事業を、平成24年度より全小学校において実施しています。

本事業において、就学前教育保育施設と小学校の間の円滑な接続を意識した交流、連携活動に取り組まれることにより、幼児が就学への希望や期待をもったり、小学生が年長者としての自覚や思いやりの心を持ち自己有能感を高めたりできることが期待されています。

ワクワクひろば

遊びを通して学ぶ幼児期の教育活動から、教科学習が中心の小学校以降の教育活動への円滑な移行をめざし幼稚園・認定こども園・保育所(園)等と小学校との連携を強化することを目的としています。

就学前の幼児

小学校施設を活用した交流活動の中で、就学前5歳児が小学校に対する興味・関心、期待感をもてるようにする。

教育課程に位置づけた 各小学校独自の多様な活動

授業参観・給食体験・運動会
など学校行事への参加
就学前健診時の遊び体験等

小学生

就学前5歳児と交流することにより、小学生が年長者としての自覚や思いやりの心をもつとともに、自己有能感を育めるようにする。

教員・保育教諭等

幼稚園・認定こども園・保育所(園)の教員や保育教諭と小学校の教員との交流を図る。

一緒につくる つくって遊ぶ

【幼児】 小学校の1年生といっしょに「かさぶくろケット」をつくる。小学校との交流を通じて、小学校の様子を知ることができる。また小学生といっしょに制作活動経験をすることにより、学校生活への興味・関心を高めていく。

【小学生】 幼児との交流を通して、年上としての自覚を高める。また、年下の幼児に制作方法を伝える活動を通して、やさしい思いやりの気持ちを育てる機会とする。

